様式第4号 不活性ガス消火設備・ハロゲン化物消火設備・粉末消火設備(移動式を除く)の概要表記載要領

- ① 概要表の表題・概要表
- ・概要表の表題は、該当する消火設備を選択、記入する。なお、提出 を必要とする消火設備が複数あり、同一の着工届出書で提出する場合、 設備ごとに概要表を作成する。
- ② 放 出 方 式
- 該当する方式を選択する。
- ③制御盤設置位置
- ・制御盤を設置する階及びその室名を記入する。
- ④ 貯蔵容器等
- 該当するものを選択する。
- ⑤ 制御盤認定番号
- ・(-財)日本消防設備安全センターの認定番号等を記入する。
- ⑥ 起 動 方 式
- 該当する方式を選択する。
- ⑦ 音 響 警 報
- 該当するものを選択する。
- ⑧ 空 気 呼 吸 器
- ・設置個数及び設置場所名を記入する。
- ⑨ 放 出 表 示 灯
- ・設置個数及び箇所を記入する。
- ⑩ 回 転 灯 等
- 同上
- ⑪ 赤 色 表 示 灯
- 専用若しくは兼用を選択する。
- ① 閉止弁開閉状態表示場所
- ・表示場所名を記入する。
- ① 消 火 剤
- ・種別、設置場所、容器別数量及び容器本数を記入する。
- ⑭ 加 圧 用 ガ ス
- ・加圧放出するガスを選択し、数量及び容器本数を記入する。
- 15 配 管
- ・配管の材質を記入する。
- ・弁類の種別を選択する。区 域 ・区域数、最大区域及び最大区域及び最大区域及び最大区域及び最大区域及び最大区域及び最大区域及び最大区域及び最大区域及
 - ・区域数、最大区域及び最小区域の放出面積、放出率並びに放出体積を記入する。
- ① 常 用 電 源

出

16) 放

- ・AC・DCの区分により、該当するものを選択する。
- ・ACを選択した場合、電圧を記入し、電源回路について該当するものを選択する。
- ・DCを選択した場合、容量を記入し、充電方式及び使用別について 該当するものを選択する。
- 18 非 常 電 源
- ・該当する設備を選択する。
- ・自家発電設備を選択した場合、出力を記入するとともに使用別を選択する。
- ・蓄電池設備を選択した場合、電圧及び容量を記入するとともに充電 方式及び使用別を記入する。
- ・非常電源専用受電設備を選択した場合、電圧を記入する。
- 19 配 線
- ・該当する回路ごとの施工方法を選択する。
- ② 放 出 区 域 名
- ・上記60で示した各放出区域の名称を記入する。
- ②1 階
- ・各放出区域の設置階を記入する。
- ② 面 積
- 各放出区域の床面積を記入する。
- ② 体 積
- ・各放出区域の体積を記入する。
- ② 換 気 口
- ・各放出区域の換気口の有無を選択する。・有を選択した場合、消火剤放出時に換気口が閉鎖する構造のもので
- あれば(閉)を○で囲む。
- ② 換 気 装 置
- 各放出区域の換気装置の有無を選択する。
- ・有を選択した場合、消火剤放出時に換気装置が停止する機能のものであれば(停)を○で囲む。
- 26 排 出 措 置
- ・各放出区域の排出措置について該当する方法を選択する。
- ② 消 火 剤 量
- 各放出区域の消火剤量を記入する。
- 28 ヘ ッ ド 数
- ・各放出区域の消火ヘッド数を記入する。
- 29 排 出 口 位 置
- ・消火剤の最終排出口の位置を記入する。
- ③ 排出消火剤の安全措置
- ・消火剤の排出に伴う安全措置を記入する。

- ③ 機械式排出措置・上記過で機械を選択した場合、その電源の種類を常用と非常用の別 に記入する。
 - ・使用別について該当するものを選択し、兼用を選択した場合、
 - ()内に兼用する設備の名称を記入する。

- ② 隣接区画の安全対策 ・隣接部分の安全対策を記入する。
- ③ そ の 他 ・耐火電線等に接続部が生じる場合、該当する工法を記入する。詳細 は4.(2) ⑨による。

① <u>不活性ガス消火設備</u> (二酸化炭素)・ハロゲン化物消火設備 () 粉 末 消 火 設 備 (移動式を除く) の概要表

様式第4号

② 放	出方式	全域放出方式 ・ 局所放出方式							3制御	路設置位	置	地下 1 階貯蔵容器室		
4 貯	蔵容器等	蓄圧	[(高圧	式・低圧	式・その他(⑤制 御 魯	といれ 全番 かんりゅう かいかい かいかい かいかい かいかん かいかん かいかん かいかん かいか	: 号	0000					
⑥ 起	型動方式	手動	電気式	・手動	カガス式 ・	自動式(自火報	と連動	・専用感気	口器・その	他())	
⑦ 音響警報		音声・サイレン・音声+サイレン・ブザー・その他(⑧空気呼吸器 2個(防災センター)			(センター)	
9放出表示灯		設置個数 5 箇所 1 回転灯等設置個数 箇所 1 赤色表示灯 専用・兼								⑰ 閉止弁開閉 状態表示場所 防災センター				
		種	別	CO	CO ₂					設置場所		地下 1 階貯蔵容器室		
13消火剤		容器	別数量	<u>.</u>	45 kg×	容器本	数	28	8 本	•				
			kg×容器本数 本 =総数量 1,260]											
14加圧用ガス		窒素ガス・二酸化炭素 数量 m³・L・kg 容器本数											本	
15面	皇	7	管		JIS G 3454									
UJ EL	, B	弁	類	選択弁	• 放出角	· · 海	成圧弁	• 閉	引止弁 ・	その他	()	
16) ±/	出区域	区域	数	最	大 放出面和	責 30	5 m ²	放出	率 42	kg/s	放出	出体積 16	77.5 m³	
(U)	【田区域		2 区域	載 最 /		責 22	O m²	放出	率 15	kg/s	放出	占体積 5	50 m ³	
電	① 常用電	雪 酒	単相	•	三相	AC	100	V		電灯	可路	· 動	力回路	
	11 (171 🕕	也加小	DC	7	I	АН	充電力	方式	トリクル	・浮動	使月	月別 専力	用・共用	
源	18 非常電	雪源	自家	発電設備	単相・	三相	AC•	DC	V	kVA	使月	月別 専力	用・共用	
源 1977 市		蓄電			OC 24 V 50				トリクル		使月	月別 専	用・共用	
19	常用電		Ι μμ		ブル・電線管					[()	
配	非常電警報	源回	- H		電線管露電線管露)	
線	言 報 その他			対熱電線・電線管露出・ <mark>電線管埋設</mark> ・その他 (V電線 ・露出ケーブル・電線管露出・電線管埋記						・その他	ı ()	
	20放出区	域名		22 面積	1	ı	気 口					②7)消火剤量	/ 28ペット*数	
1	特高電		地下 1 階	305 m			別 ・無		(<mark>停</mark>)·無	機械 · 自		1258.2kg	3個	
2	電気			220 m	-	有(閉)・無		有(停)・無		機械・自然		440.0kg	2個	
3			1 78	m	-		閉)・無	有	(停)•無	機械・自	然	kg	個	
4				mi	² m ³	有(閉)・無	有	(停)•無	機械・自	然	kg	個	
5			m ² 1		² m³	n³ 有(閉)·無 有		有	(停)•無	停)•無 機械•自然		kg	個	
6				m	² m ³	有(朝) • 無	有	(停)•無	機械・自	然	kg	個	
7				m	² m ³	有(閉)・無	有	(停)•無	機械・自	然	kg	個	
29 ∄	丰出 口 亿	Z 置		用ダクト	立上げ(屋上	まで)	(3	0 排出	消火剤の気	安全措置	屋上	から放出し、技	広散させる.	
	&械式排出		常用電流	原 三相 22	OV 動力回路 非常	常用電源	自氡	発電	設備	使 用 別	専用	・兼用()・	ポータブル	
	接区画の安全	対策												
33 そ														
の														
他														

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○で囲むこと。

不活性ガス消火設備(粉末消火設備

) ^①ハロゲン化物消火設備 (**1301**) (移動式を除く) の概要表

様式第4号

② 於	女出方式		全	域放出	方式	・ 局所	放出力	式		3制 御 5	盤設置位	Z 置	地下1階	貯蔵容	器室
4 貯	貯蔵容器等 蓄圧(高圧式・低圧式・その他())・加圧							加圧	5制御	⑤制御盤認定番号 ○○○○					
6 起	型動方式	手動	電気式	し・手	動ガ	ス式 ・ [動式(自火報	と連動	」・専用感知	口器・その	他())
⑦ 章	F響警報	音声・サイレン・音声+サイレン・ブザー・その他()	8空気呼吸器 2個(防災センタ			ター)	
9 放	出表示灯	設置個数 5 箇所 10 回転灯等 設置個数 箇所 10 赤色表示灯								専用・兼用 <mark>(1)</mark> 閉止弁開閉 防災センタ -					' —
13消火剤		種	別	٧C	ン	1301					設 置	場 所	防災	センタ	7—
		容器	別数	量	6	0 kg	×容暑	器本数		1 本	z				
			kg×容器本数 本 =総数量 60 kg												
№加圧用ガス														本	
15 酉i	· 管				JIS										
	- 1	弁	類			· 放出弁			_		その他)
16 於	出区域	区域				放出面積				率 3	kg/s		体積 2	202.5	
	T		1 区	1		放出面積		m²			kg/s		□体積		m³
電	10常用電	電源	単相	٠	<u>Ξ</u>	相	AC		0 V		電灯			<u> </u>	
			DC	av. ====================================	V	V Les -	AH			トリクル		使月		用・	
源	18非常電源			発電設備		単相・ 3				V	kVA	使月		用・	
		<u> </u>				24 V 30						(使 月	日別 呉	『用・ 』	平用
19	常用電非常電		μп _			ル・電線管 電線管露!					ī ()
	警報					直線管露 占)
線	その他	の回	路	IV電線・露出ケーブル・電線管露出・						1線管埋部)		
	20放出区	区域名	21)階	220面 利	漬 🧷	3 体 積	24换	気口	25 核	與気装置	26排出	措置	27消火剤	量 28/	ッド数
1	防災セン	ター	1階	45 r	n²	160 m³	有(閉)・無	有	(停)・無	機械・	自然	51.2 k	g	1個
2				1	'n	m³	有(閉)・無	有	(停)•無	機械・	自然	k	g	個
3					n²	m³	有(閉)•無	有	(停)•無	機械・	自然	k		個
4					m²	m³	有(閉)•無	有	(停)•無	機械・	自然	k	_	個
5					'n	m³	有(閉)・無	有	(停)•無	機械・	自然	k		個
6					n²	m³		閉)•無		(停)•無	機械・		k		個
7					n²	m³		閉)・無		(停)•無	機械・	1		g	個
②排 出 口 位 置 専用ダクト立上げ(屋上まで) ③動排出消火剤の安全措置 屋上から放出し、拡散させる。 ③動機械式排出措置 常用電源 三相 220V 動力回路 非常用電源 自家発電設備 使 用 別 専用・兼用()・ポータブル															
	幾械		吊用電	原 二相 2	.ZUV !	別川山岭 非年	川竜源		多 开電	或 川	使 用 別	守川	* 末州(•小一/	メノル
33	TO COUNTY	-7\1\XK													
そ															
0)															
他															

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○で囲むこと。

不活性ガス消火設備 ()・ハロゲン化物消火設備 ()・ハロゲン化物消火設備 () の概要表粉 末 消 火 設 備 (移動式を除く) の概要表

様式第4号

2放出方式		全域放出方式 ・ 局所放出方式 3							③制御盤設置位置					
4 貯	'蔵容器等	蓄圧	蓄圧(高圧式・低圧式・その他())・加圧 ⑤制 御 盤 認 定 番 号											
⑥ 起	型動方式	手動電気式・ 手動ガス式・ 自動式(自火報と連動・専用感知器・その他(
⑦ 音響警報		音声・サイレン・音声+サイレン・ブザー・その他()								8空気呼吸器 2個(防災センタ			災センター)	
9放出表示灯		設置個数 6 箇所 10回転灯等設置個数 箇所 10赤色表示灯 専用・兼用								(12) 閉止弁開閉 状態表示場所				
		種	別	第3種	粉末					設置場所				
(13)消	1 火 剤	容器別数量 300 kg×容器本数 1 2												
		kg×容器本数 本 =総数量											OO kg	
14加圧用ガス		· 窒素ガス・二酸化炭素 数量 40 ㎡・L·kg 容器本数										2 本		
15 西面	2 管	3	管	JK	JIS G 3454									
(I) EI		弁	類	選択弁	· 放出弁	· 減	圧弁	• 閉	止弁 ・	その他	()	
16) ‡/	出区域	区域	数	最 大	放出面積	1 295	5 m²	放出	率 10	kg/s	放出	占体積	740 m³	
(U)	ДЦСЩ		2 区均	最 小	放出面積	₹ 28 8	3 m²	放出	率 10	kg/s	放出	占体積	722 m ³	
電	⑪ 常用電	雪 酒	単相	• =	三相	AC	100	V C		電灯	一回路	各 • 重	動力回路	
	11 (17)	也加	DC	V		АН	充電力	式式	トリクル	・浮動	使月	別専	用・共用	
源	18 非常電源		自家	発電設備	単相・ 3	三相 •	AC•	DC	V	kVA	使月	月別 専	用・共用	
你	10 5 111 1	蓄電		也設備 DC	24 V 50	АН	充電力	式式	トリクル	•浮動	使月	別事	用・共用	
19	常用電		1 11 1		ブル・電線管				_	Ī ()	
配 非常電源回路 耐火電線·電線管露出·電線								_)	
線	警報 その他	回の回	1 11/2		熱電線・電線管露出・ <mark>電線管埋設</mark> ・その他 (7電線 ・露出ケーブル・電線管露出・電線管埋) B·その他 ()			
	% ************************************	一				1						河 消水剂·	ノ 量 28 ヘット・数	
1	駐車場		地下 1 階	722 m ²	m ³	有(閉			停)•無	機械・自		260 kg		
$\frac{1}{2}$	駐車場		地下	740 m ²	m³	有(閉			停)•無	機械・自		266.4kg	-	
3	32 , 53		1 階	m²	m³	有(閉		-	停)•無	機械・自		kg		
4				m²	m³				停)•無	機械・自		kg		
5				m²	m³	有(閉			停)•無	機械・自		kg		
6				m²	m³	有(閉	引)•無	有(停)•無	機械・自	然	kg		
7				m²	m³	有(閉	引)•無	有(停)•無	機械・自	然	kg	g 個	
②排 出 口 位 置														
5 Marie 1911 1142								・ポータブル						
	蜂接区画の安全	全対策												
33 そ														
0														
他														
I CT														

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○で囲むこと。